

危機管理・健康福祉常任委員会 議事次第

令和 7 年 8 月 19 日（火）

午 後 1 時 3 0 分 ～

於：第 5 委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「医療的ケアを必要とする方とその家族への支援について」

参考人：京都の医療的ケアを考える会（K I C K）

副会長 辻 真一 氏

3 そ の 他

4 閉 会

危機管理・健康福祉常任委員会 出席要求理事者名簿

【危機管理監】	
危機管理監 (危機管理部長兼務)	南 本 尚 司
副危機管理監 (危機管理部副部長兼務)	坂 根 久 尚
危機管理監付企画参事	万 所 ル ミ
危機管理監付企画参事	福 井 克 実

【危機管理部】	
危機管理部防災監	澤 熊 輝 力
危機管理部理事 (災害対策課長事務取扱)	山 本 健 一
危機管理総務課長	西 山 宜 昌
原子力防災課長	古 橋 勝 也
消防保安課長	齊 藤 整

【健康福祉部】	
健康福祉部長	井 原 正 裕
健康福祉部保健医療対策監	奥 田 司
健康福祉部副部長 (総括・総務担当)	南 部 慎 一
健康福祉部副部長 (地域包括担当)	安 原 孝 啓
※健康福祉部副部長(子育て・福祉担当) (こども・子育て総合支援室長兼務)	大 島 史 也
健康福祉部副部長 (健康担当)	十 倉 孝 之
健康福祉部理事 (薬務課長事務取扱)	橘 昌 利
こども・子育て総合支援室企画参事	西 田 一 慶
健康福祉総務課長	村 上 哲 司
健康福祉総務課参事	藤 原 秀 太
健康福祉総務課参事	原 圭 太 朗
高齢者支援課長	松 尾 治 樹
医療保険政策課長	東 原 勲
リハビリテーション支援センター長	近 藤 正 樹
地域福祉推進課長	宮 村 匡 彦
障害者支援課長	岩 田 高 明
家庭・青少年支援課長	一 色 恭 行
健康対策課長	戸 田 英 和
医療課長	古 川 浩 気

(計 28 名)

※ 新任理事者

危機管理・健康福祉常任委員会 出席要求理事者名簿
(8月19日)

【健康福祉部】	
健康福祉部副部長(子育て・福祉担当) (こども・子育て総合支援室長兼務)	大 島 史 也
こども・子育て総合支援室企画参事	西 田 一 慶
健康福祉総務課長	村 上 哲 司
障害者支援課長	岩 田 高 明
障害者支援課参事	大 同 裕 子
健康対策課長	戸 田 英 和

(計 6 名)

令和7年度8月閉会中常任委員会

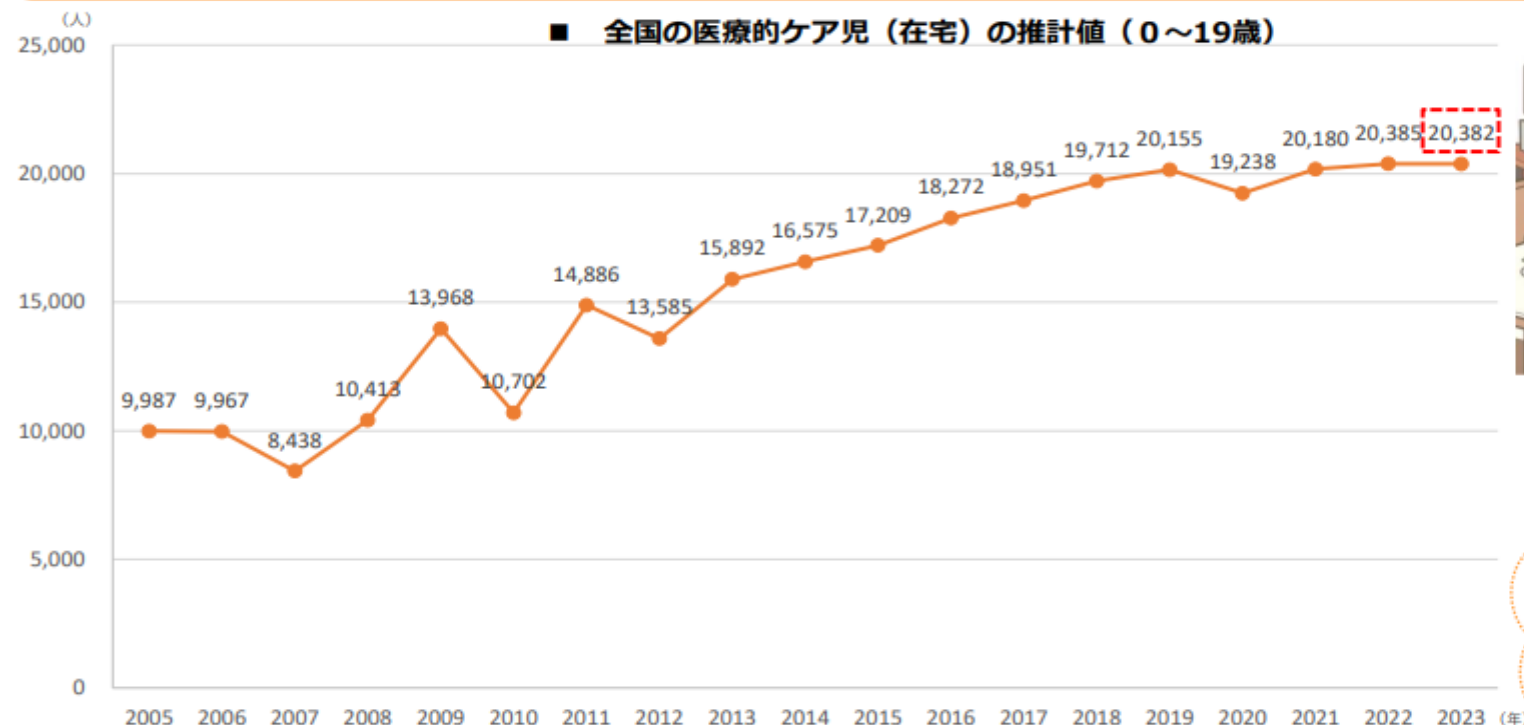
医療的ケアを必要とする方とその家族への支援について

令和7年8月19日
京都府健康福祉部

医療的ケア児について

- 医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。
- 全国の医療的ケア児（在宅）は、約2万人〈推計〉である。

■ 全国の医療的ケア児（在宅）の推計値（0～19歳）



その他の医療行為とは、
気管切開の管理、
鼻咽頭エアウェイの管理、
ネブライザーの管理、
酸素療法、経管栄養、
中心静脈カテーテルの管理、
皮下注射、血糖測定、
継続的な透析、導尿等

出典：厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究（田村班）」
及び当該研究事業関係者の協力のもと、社会医療診療行為別統計（各年6月審査分）によりこども家庭庁支援局障害児支援課で作成

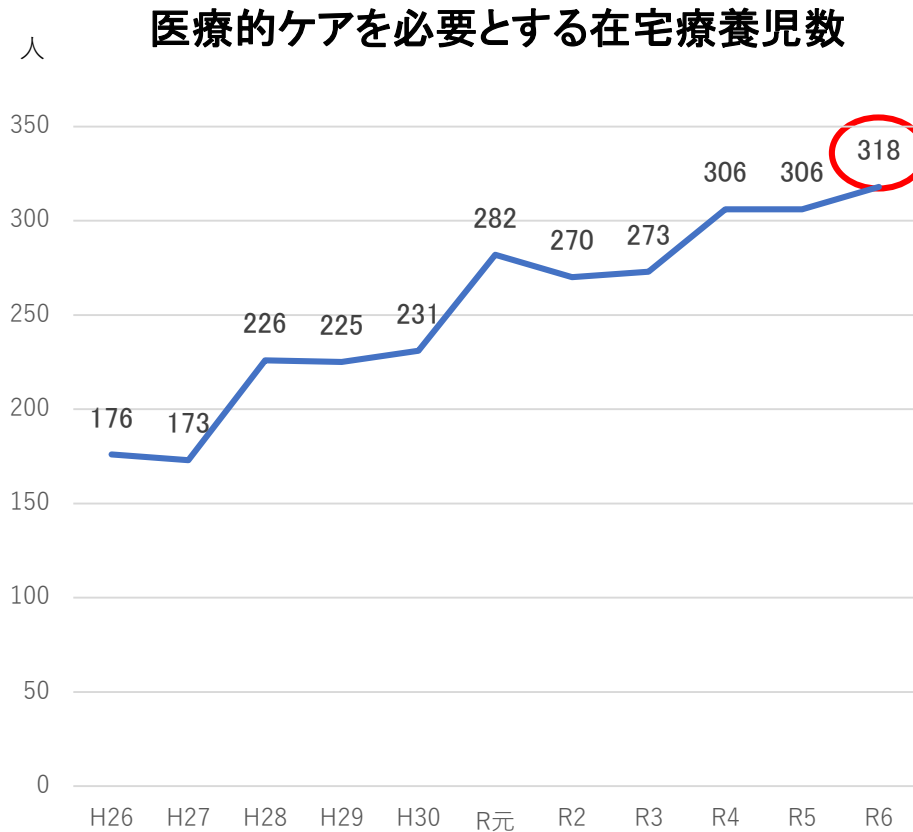
医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（令和3年6月18日公布・同年9月18日施行）

第二条 この法律において「医療的ケア」とは、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為をいう。

2 この法律において「医療的ケア児」とは、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童（18歳未満の者及び18歳以上の者であって高等学校等（学校教育法に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部をいう。）に在籍するものをいう。）をいう。

出典：こども家庭庁HP

京都府における医療的ケアを必要とする在宅療養児数



※小児慢性特定疾病申請をもとにした調査による
京都府及び京都市が把握した人数

丹後医療圏

丹後 6人

中丹医療圏

中丹西 11人

中丹東 23人

南丹医療圏

南丹 17人

京都・乙訓医療圏

京都市 173人

乙訓 18人

山城北医療圏

山城北 35人

山城南医療圏

山城南 35人

京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」

開設日	令和4年4月25日
場所	京都府庁1号館4階 障害者支援課内
相談受付	平日 午前9時から午後4時まで (祝日及び年末年始除く) ＜専用☎075-414-5120＞
組織体制	センター長 : 健康福祉部長 副センター長 : 健康福祉部副部長 事務局員 : 専属看護師 障害者支援課職員

業務内容

医療的ケア児等からの
相談への支援

- ・ 社会資源等の情報提供
- ・ 適切な関係機関への紹介

関係機関、従事者への
情報提供及び研修

- ・ 好事例や最新施策の発信
- ・ 研修や事例検討

関係機関等との
連絡調整

- ・ 関係機関の連絡調整
- ・ 医療的ケア児等コーディネーターとの連携

京都の
**医療的
ケア児**
つながろう
家族会

京都府
医療的ケア児等
支援センター
ことのわ

専用電話：075-414-5120

京都府医療的ケア児等
支援センター「ことのわ」
基本情報調査への協力を

丹後圏域
「なごみの会」

京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」
基本情報調査への協力を

京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」
基本情報調査への協力を

医療的ケア児つながろう
ZOOM 交流会

日 時：令和6年12月8日(日)
午前10時～11時30分
参加対象：医療的ケア児等の御家族
家族会・親の会・支援者など

★京都府内の医療的ケア児について
京都府医療的ケア児等支援センター
「ことのわ」 喜田 真理子(20分)

★グループワーク (40分)

★全体交流 (30分)

家族会・親の会同士や個人
が「ゆる〜く」でいいので、
つながりませんか？
地域に即した情報や「こんな
ことできたらいいな。」など、
気軽に話してみよう。

お申込みはこちらから

【問合せ先】
京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」
電話：075-414-5120
(月～金 8:30～17:15、土日祝は休み)

令和6年度医療的ケア児等支援体制整備事業 京都府健康福祉部

2024年
7月7日(日)
13:30開場 14:00開演
(16:00終了)

ひとまち交流館
2階・大会議室

先着120名
お申込みは
このQRコードより
お願いします

参加費 無料

QRコードでお申込みには問題がある場合は、
事務局のメールにてご連絡ください。

第1部
KAPPA-ZA☆KYOTO
ファミリーコンサート
スズキミチ子とともじり
おどろろりによる歌と遊びの楽しいステージ

第2部
声楽家・青野浩美さん
によるコンサート
スズキミチ子とともじり
おどろろりによる歌と遊びの楽しいステージ

＜みんながハッピースマイル！＞

車いすやバギーでの
入場が可能です
お預けのスペースや
おむつ交換スペースも
あります
どなたでもご利用できる
休憩スペースも
あります
呼吸器やアラームの音は
気にせずに
コンサートをお楽しみ
ください

京都の医療的ケア児つながろう
親子コンサート

夏の始まり、クリニックラウンのみなさんと
いっしょにわくわくしよう！

医療的ケア児つながろう！
わくわく交流会

2025年7月6日(日)
11:00～14:00 入場無料

10:45 受付開始
11:00 開会
11:10 クリニックラウンさんと交流
(認定NPO法人日本クリニックラウン協会)
12:10 ランチ交流会
14:00 閉会

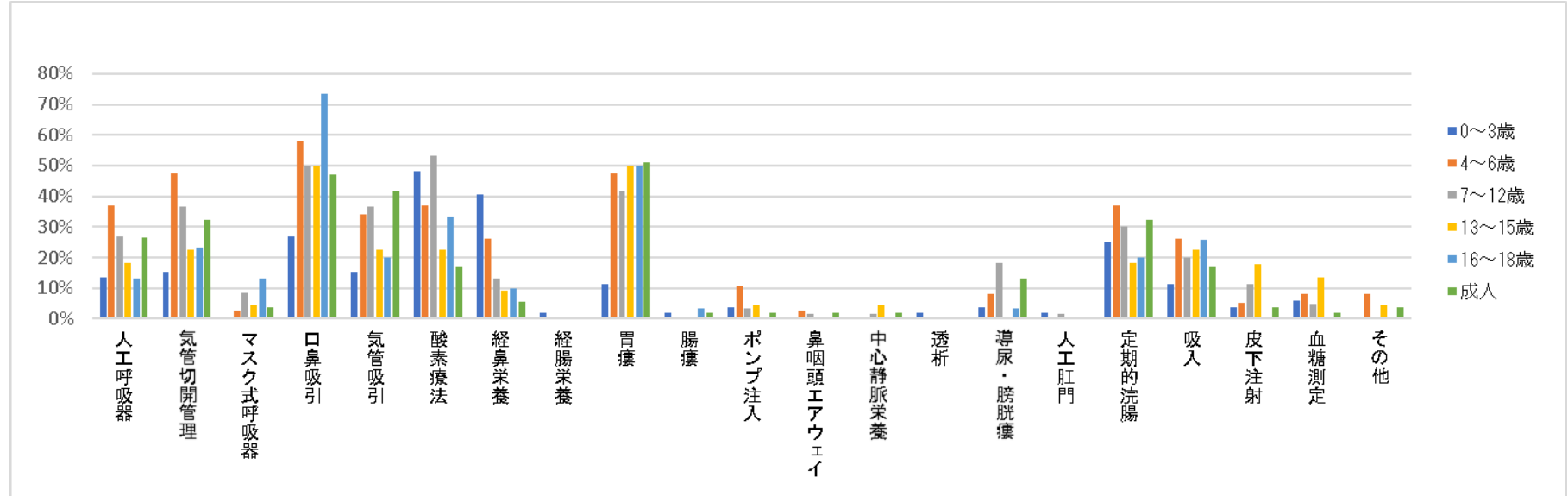
場所：ガレリアかめおか
〒621-0806 京都府亀岡市金町4-1-1

京都府の医療的ケア児とそのご家族、
支援者が集まってつなげる企画です。
ぜひご参加ください！
お申し込みはコチラ▶
(早割 6/30)

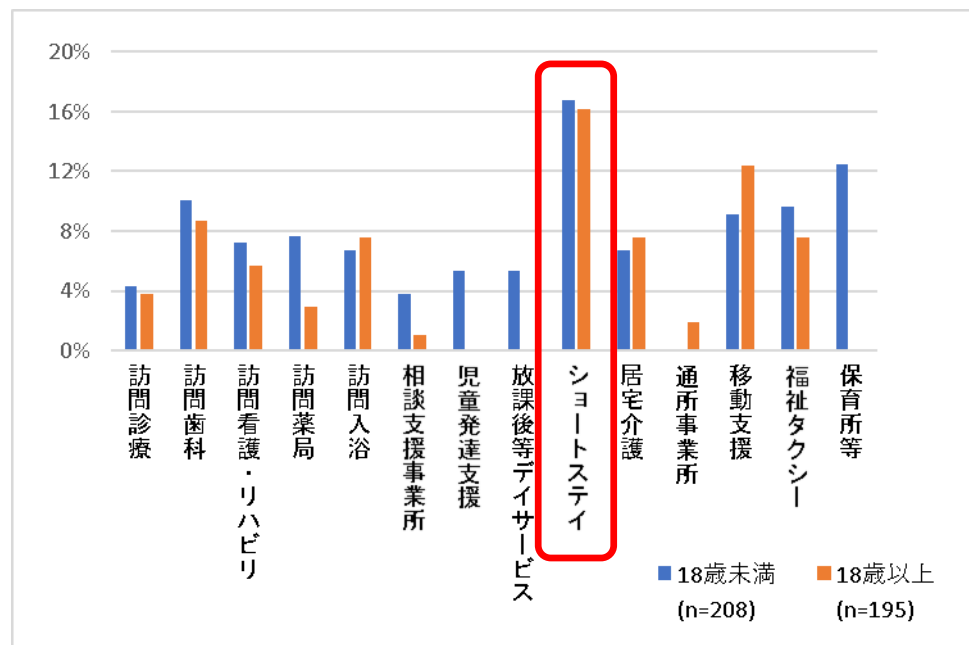
◎車いすやバギーでの
入場が可能です
◎お預けのスペースや
おむつ交換スペースも
あります
◎どなたでもご利用
できる休憩スペースも
あります
◎呼吸器やアラームの音は
気にせずに
交流会をお楽しみください！

【問合せ先】
京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」
☎ 075-414-5120 (平日 9:00～16:00、祝日は休み)

【医療的ケアの内容 年代別割合（複数回答）】



【利用したいサービス（複数回答）】



- ・ 0～3歳の乳児期では、酸素療法の割合が48.1%と最も高く、次いで経鼻栄養が40.4%と高い
- ・ 4歳以上の幼児期・小学生期・中学生期・高校生期で、口鼻吸引の割合が50.0%～73.3%と最も高く、次いで胃瘻が41.7%～50%と高い
- ・ 日常の医療的ケアの中で、人工呼吸器、たん吸引器、酸素濃縮器など電源を必要とする機器を利用されていることが多い。

⇒ショートステイの利用希望が最も多い

【在宅での主な育児者・介護者（複数回答）】

	18歳未満 (n=208)	割合	18歳以上 (n=105)	割合
母親 (そのうち母親のみ)	199 144	95.7% 69.2%	91 70	86.7% 66.7%
父親 (そのうち父親のみ)	55 2	26.4% 1.0%	22 3	21.0% 2.9%
祖父母 (そのうち祖父母のみ)	11 1	5.3% 0.5%	3 2	2.9% 1.9%
その他（姉・妹等）	0	0.0%	5	4.8%
無回答	5	2.4%	9	8.6%
ひとり親家庭	15	7.2%	32	30.5%
きょうだいがいない家庭	60	28.8%	61	58.1%

- ・ 18歳未満・18歳以上ともに主な育児者・介護者は母親である
そのうち66.7%は「母親のみ」が育児者・介護者である

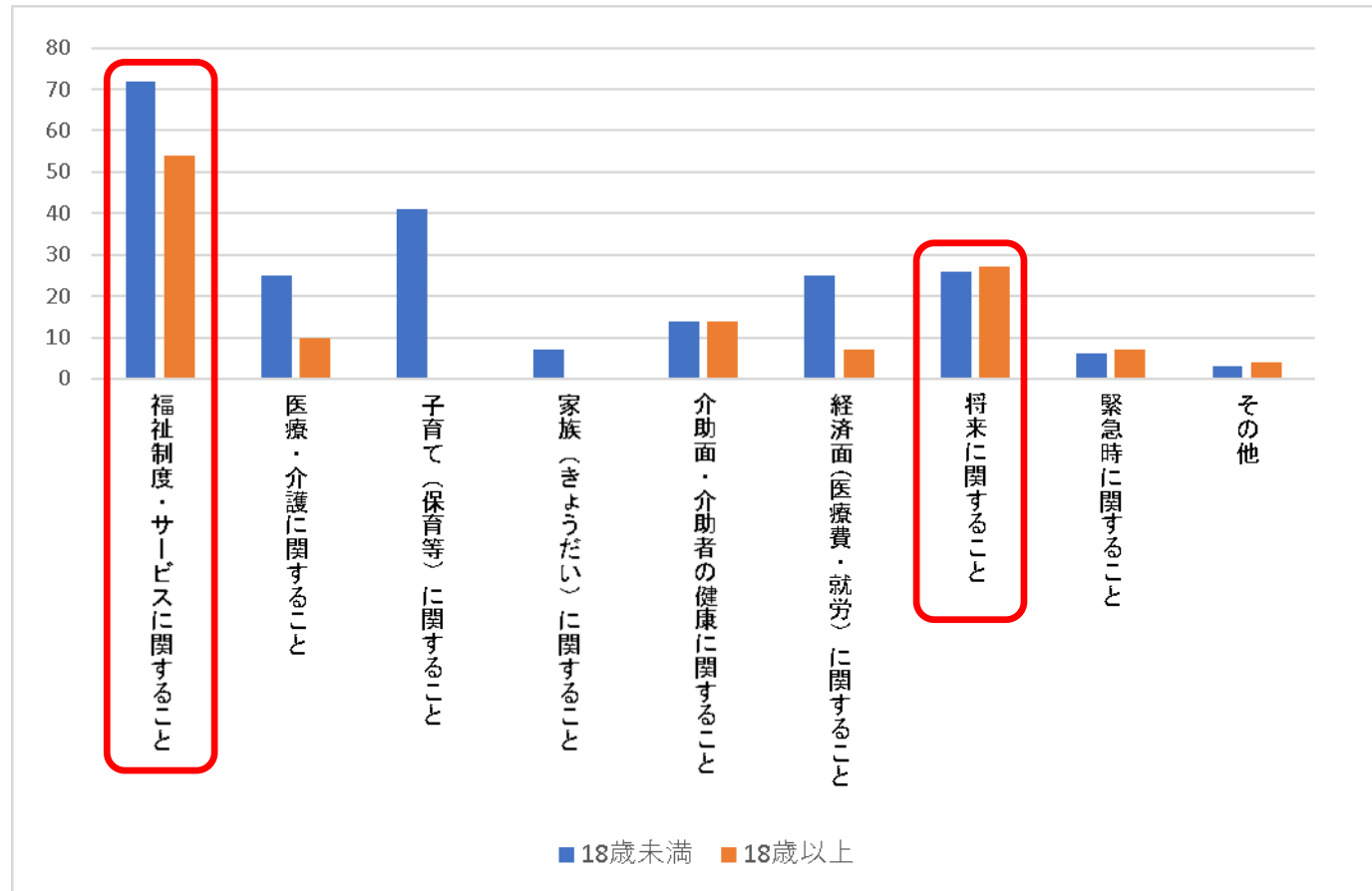
【主な育児者・介護者の就労状況と年代別人数及び割合】

全体 (313名)	1～3歳 n=52	4～6歳 n=45	7～12歳 n=63	13～15歳 n=24	16～18歳 n=36	19歳以上 n=93	合計 n=313
就労している	8	21	26	14	16	31	116
割合	15.3%	46.7%	41.3%	58.0%	44.0%	33.3%	37.1%
今後就労予定	9	2	6	0	1	1	19
割合	17.3%	4.4%	9.5%	0.0%	2.8%	1.1%	6.1%
預け先があれば就労したい	26	15	17	2	11	6	77
割合	50.0%	33.3%	27.0%	8.3%	30.6%	6.5%	24.6%
就労希望なし	5	6	11	3	7	35	67
割合	9.6%	13.3%	1.5%	12.5%	19.4%	37.6%	21.4%
無回答	4	1	4	4	1	20	34
割合	7.7%	2.2%	6.3%	16.7%	2.8%	21.5%	10.8%

- ・ 特に乳幼児の保護者では「預け先があれば就労したい」との希望が多い（将来の経済面の不安なども大きい）

【困っていること、将来に向けて不安なこと(複数回答)】

(件)



- ・ 18歳未満・18歳以上いずれも「福祉制度・サービスに関すること」が最も多く、特にショートステイやレスパイトの利用、成人移行後の生活介護、グループホームに関する事など、全年齢で預け先の希望が多かった
- ・ 急病・急用の場合のほか「災害時の対応」への不安もあった